

野焼きを待つ草原



ボランティアの協力

阿蘇の農家は人手不足に悩んでいます。今では多くのボランティアの人々が、野焼きを始め、草原を維持管理するための作業に関わっています。こうした作業を体験できるツアーも実施されています。参加者は、地元の人々の指導のもとで草原を守る作業に挑戦します。

2月  
2009

| 日  | 月  | 火  | 水         | 木  | 金  | 土  |
|----|----|----|-----------|----|----|----|
| 1  | 2  | 3  | 4         | 5  | 6  | 7  |
| 8  | 9  | 10 | 11 建国記念の日 | 12 | 13 | 14 |
| 15 | 16 | 17 | 18        | 19 | 20 | 21 |
| 22 | 23 | 24 | 25        | 26 | 27 | 28 |



竹とかずらから火消し棒をつくる



火消し棒づくり

野焼きの際には、残った種火が延焼しないように消火作業が行われます。消火作業では、ジェットシューターと呼ばれる背負い式の水のうのほか、竹とかずらで作られた昔ながらの火消し棒も活躍します。火消し棒作りは、地元で行われている草原環境学習ツアーのプログラムとしても取り入れられています。

野の火が告げる春の訪れ



野焼き

阿蘇の草原で行われる野焼きは、草原を守るための大切な作業です。古い草を焼き新しい芽だちを助けることで、放牧や採草に適した新鮮な草原を保つことができます。人手不足などから野焼きを行わない草原が増えてきており、そうした草原はヤブ化が進んでしまいます。

3月  
2009

| 日  | 月  | 火  | 水  | 木  | 金       | 土  |
|----|----|----|----|----|---------|----|
| 1  | 2  | 3  | 4  | 5  | 6       | 7  |
| 8  | 9  | 10 | 11 | 12 | 13      | 14 |
| 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 春分の日 | 21 |
| 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27      | 28 |
| 29 | 30 | 31 |    |    |         |    |



火消し棒で火種を消す



野焼きの再開

人手不足のため野焼きができず、ヤブ化が進む草原を再生していくため、地元関係者と野焼き支援ボランティアらによって、野焼き再開の取組みが行われています。これまで夜峰山（南阿蘇村）と田子山（阿蘇市）で実施されました。平成20年には、新たに日ノ尾牧野（阿蘇市）で行われました。野焼きの取組みは一年限りで終わらせることなく、継続していく必要があります。